

共同研究成果報告書

作成日 平成22年 5月19日

研究課題名	平安文学における場面生成研究—物語の生成と受容—					
所属研究部局 ・職名	文学形成研究系 ・教授		ふりがな	なかむら やすお		
			研究代表者氏名	中村 康夫		
研究形態	1. 基幹研究 2. 共同研究 (3.) プロジェクト研究 4. その他 ()					
研究の位置づけ	(1.) 中期目標・中期計画に記載 2. その他 ()					
研究期間	平成16年度～平成21年度		6年計画の第6年次			
研究経費	年度	研究経費	経費内訳 (単位:円)			
			物品費	旅費	謝金等	その他
	平成16年度	1,065,939	572,977	103,840	53,200	335,922
	平成17年度	1,223,480	823,780	277,940	45,600	76,160
	平成18年度	1,180,426	210,749	415,520	0	554,157
	平成19年度	1,199,986	228,836	387,900	0	583,250
	平成20年度	1,422,282	4,494	552,820	0	864,968
	平成21年度	1,444,754	41,643	596,788	0	806,323
総計	7,536,867	1,882,479	2,334,808	98,800	3,220,780	

研究組織				
氏 名	所属機関・部局・職名	現在の専門	役 割 分 担	エフオート (%)
(研究代表者)				
中村 康夫	文学形成研究系・教授	平安文学	研究の総括	30
(研究分担者)				
阿尾 あすか	文学形成研究系・機関研究員	中世文学	中世和歌関係	30
伊藤 鉄也	文学形成研究系・教授	平安文学	本文・翻訳関係	20
江戸 英雄	文学形成研究系・助教	平安文学	平安前期物語関係	30
安藤 徹	龍谷大学・文学部・准教授	平安文学	源氏物語関係	20
岩城 賢太郎	宇部工業高等専門学校・一般 科・講師	中世文学	中世芸能関係	10
小川 陽子	松江工業高等専門学校・人文科 学科・助教	中世文学	源氏物語の享受史	10
加藤 昌嘉	法政大学・文学部・准教授	平安文学	作り物語関係	10
金光 桂子	京都大学・大学院文学研究科・ 准教授	中世文学	中世王朝物語関係	10
高橋 由記	明星大学・日本文化学部・非常 勤講師	平安文学	歴史物語関係	10
中川 照将	皇學館大学・文学部・准教授	平安文学	平安後期物語関係	10
萩野 敦子	琉球大学・教育学部・准教授	平安文学	狭衣物語関係	10
松岡 智之	静岡大学・教育学部・准教授	平安文学	源氏物語関係	10
横井 孝	実践女子大学・文学部・教授	平安文学	絵画資料関係	10
横溝 博	秀明大学・学校教師学部・専任 講師	中世文学	中世王朝物語関係	10
(研究補助者)				
吉田 小百合	文学形成研究系・リサーチアシスタント			
合計 16名				

[概要（背景と目的）]

- ・「背景」と「目的」は、概要の中に入れて記入している場合は、特立して記す必要はありません。
- ・半頁以上、1頁以内で記入して下さい。
- ・【全体の研究成果】等他の記入欄と同内容のことを書かざるを得ない場合でも、他の記入欄と数行にわたって同一内容（成果出版物の目次を記す等）になるような記入はしないで下さい。

平安～鎌倉時代に作られた物語作品を主な対象とし、物語を構成する「場面」に着目しながら、平安物語の生成状況と受容状況を研究する。具体的には、『うつほ物語』『源氏物語』『狭衣物語』『夜の寝覚』『住吉物語』『栄花物語』等について、「成立」「流布」「改作」「異文」「注釈」「校訂」「翻訳」「絵画化」といった視点で考察を進め、各作品論にとどまらぬ総合的究明を行い、平安文学研究の新たな視座を拓くことをめざす。

[全体の研究成果]

- ・この欄に、全ての出版物を並べて記入しないようにして下さい。出版物の一部分を記入することは構いませんが、成果物の一覧は、[成果出版物・論文等]の欄に記入して下さい。
- ・半頁以上、1頁以内で記入して下さい。

本研究プロジェクトは、研究成果報告書として、下記の報告書を編集刊行し、斯界に配布した。報告書の共同討議が学界時評で取り上げられたほか、掲載論文は、各個に後続の論文等に引用され、平安文学の研究を進展することに寄与しつつある。

- ◎『〈水〉の平安文学史』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編,163p,2005）
- ◎『物語の生成と受容』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編,238p,2006）
- ◎『物語の生成と受容②』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編,264p,2007）
- ◎『物語の生成と受容③』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編,264p,2008）
- ◎『物語の生成と受容④』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編,296p,2009）
- ◎『源氏物語歌寄せ 物語の生成と受容④付録』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編,220p,2009）

- ◎『物語の生成と受容⑤』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編,236p,2010）

本研究プロジェクトでは、研究プロジェクトメンバーの協力または分担執筆によって、下記の研究文献を、付録として上記の報告書に掲載することを得た。

- ◎「源氏物語続編・外伝一覧」加藤昌嘉編，物語の生成と受容 2，p238-p245，2007
- ◎「『風葉和歌集』断簡一覧および解説」岩城賢太郎編，物語の生成と受容 3，p202-p241，2008
- ◎「研究用語の再検討」加藤昌嘉編，物語の生成と受容 3，p242-p258，2008
- （加藤昌嘉「原型／原文／原本／原典／祖本／オリジナル／アーキタイプ／流布本／異本」岩城賢太郎「古態／原態」中川照将「古本／改作本」横溝博「別本／異本」萩野敦子「広本／略本／梗概本」横井孝「本系統」高橋由記「史実／准拠」小川陽子「偽書／擬作」金光桂子「准勅撰」）
- ◎「展示資料検討報告」森田直美編，物語の生成と受容 4，p282-p289，2009
- ◎「源氏物語歌寄せ」平安文学における場面生成研究プロジェクト編，物語の生成と受容 4 別冊，p1-p218，2009

（阿尾あすか「解題」，平安文学における場面生成研究プロジェクト「源氏物語歌寄せ」）

- ◎「展示資料検討報告—特別展示「物語の生成と受容」」平安文学における場面生成研究プロジェクト編，物語の生成と受容 5，p107-p229，2010

（阿尾あすか「一滴集／源氏物語わかさ／詠源氏物語和歌／源氏物語歌寄せ」安藤徹「花鳥風月／源氏小鏡／仙源抄」伊藤鉄也「源氏物語（正徹本奥書転写本）」岩城賢太郎「宝物集／今鏡」江戸英雄「うつほ物語／浜松中納言物語／源氏物語玉の小櫛／狭衣物語付目録系図下紐／源氏物語画帖／伊勢物語朱雀院髓脳／竹取物語抄／おちくぼ物語註釈／和歌色葉集」小川陽子「山路の露／源氏雲隠抄／物語書目備考」加藤昌嘉「源氏大鏡」金光桂子「とりかへばや／住吉物語（奈良絵本）」高橋由記「伊勢物語（伝飛鳥井雅親筆本）／大和物語（桃園文庫旧蔵）」中川照将「夜寝覚物語」萩野敦子「狭衣の草子（奈良絵本）」松岡智之「手枕」森田直美「源氏装束文化考」横溝博「我が身にたどる姫君／恋路ゆかしき大将／住吉物語」）

平成 21 年 11 月に「特別展示 物語の生成と受容」を開催するにあたっては、「特別展示「物語の生成と受容」の開催」（江戸英雄 「国文研ニュース」17号 p9-p11 2009.10）を発表し、展示パンフレット『特別展示 物語の生成と受容』（平安文学における場面生成研究プロジェクト編 49p 国文学研究資料館発行 2009.11）を作成し、配布した。

【成果出版物・論文等】

- ・年次順に分けずに、【出版物】、【論文】、【その他（学会発表）（公開データベース）等】の区分で記入して下さい。記入内容は、出版物の場合は、書名（平成〇〇年〇月、〇〇書房、全〇〇〇頁）、内容（執筆者名、論文名）とし、論文の場合は、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年月、査読の有無を原則とします。
- ・論文名は「 」に、書名・雑誌名は『 』に入れるのを原則とします。
- ・論文名や学会発表、データベース名は、一件ごとに「・」や①②③…を使って区別しやすいように記入して下さい。
- ・データベースは公開されているもののみ記載して下さい。

【出版物】

【論文】

- ・「正徹の源氏物語撰取について」阿尾あすか，物語の生成と受容 4， p238-p263， 2009
- ・「物語（音読論）の臨界」安藤徹，物語の生成と受容 5， p70-p89， 2010
- ・「雨一歌物語における男と女」伊藤鉄也，〈水〉の平安文学史， p 33- p 72， 2005
- ・「傍記混入の実態から見える源氏物語諸本の位相—「初音」「常夏」の場合」伊藤鉄也，物語の生成と受容 5， p8-p30， 2010
- ・「謡曲〈狭衣〉の構成—室町文芸における『狭衣物語』天稚御子降下場面の受容の様相」岩城賢太郎，物語の生成と受容 2， p78-p113， 2007
- ・「露—『うつほ物語』におけるあて宮詠「七夕の逢ふ夜の露を…」をめぐって」江戸英雄，〈水〉の平安文学史， p 3- p 31， 2005
- ・「物語の生成—『うつほ物語』の重複本文を例に—」江戸英雄，物語の生成と受容 1， p4-p31， 2006
- ・「場面と記述—付、『うつほ物語』の場面一覧表」江戸英雄，物語の生成と受容 4， p34-p166， 2009
- ・「『山路の露』の序について—語り手の位置付けを中心に—」小川陽子，物語の生成と受容 2， p164-p188， 2007
- ・「中世王朝物語研究と『風葉和歌集』」小川陽子，物語の生成と受容 3， p96-p112， 2008
- ・「涙—「とふにつらさ」」加藤昌嘉，〈水〉の平安文学史， p 113- p 153， 2005
- ・「『源氏物語』桜人巻の散佚をめぐって」加藤昌嘉，物語の生成と受容 1， p41-p67， 2006
- ・「研究の流れ」加藤昌嘉，物語の生成と受容 3， p8-p15， 2008
- ・「紫上系と玉鬘系」加藤昌嘉，物語の生成と受容 3， p39-p62， 2008
- ・「『松浦宮物語』の省筆・偽跋について」金光桂子，物語の生成と受容 1， p204-p220， 2006
- ・「『風葉和歌集』雑部の構成について」金光桂子，物語の生成と受容 3， p126-p142， 2008
- ・「『栄花物語』の続編について」高橋由記，物語の生成と受容 1， p176-p192， 2006
- ・「一条朝以前の後宮について—史料・歴史物語・和歌—」高橋由記，物語の生成と受容 4， p8-p33， 2009
- ・「『夜の寝覚』における改作について」中川照将，物語の生成と受容 1， p144-p159， 2006
- ・「先行研究のまとめ」中川照将，物語の生成と受容 3， p88-p95， 2008
- ・「血—平安文学における表現の位相」中村康夫，〈水〉の平安文学史， p 73- p 112， 2005
- ・「歴史語りのゆくえ」中村康夫，物語の生成と受容 2， p203-p221， 2007
- ・「『狭衣物語』における「あやめ」場面の形成について」萩野敦子，物語の生成と受容 2， p35-p59， 2007
- ・「平敷屋朝敏の擬古文物語『若草物語』の生成とその注釈・研究について」萩野敦子，物語の生成

と受容 4, p192-p218, 2009

- ・「物語の文章を形作る方法をめぐって―一本居宣長『手枕』を起点に」松岡智之, 物語の生成と受容 2, p8-p21, 2007
- ・「和辻哲郎『ホメーロス批判』の射程」松岡智之, 物語の生成と受容 3, p16-p38, 2008
- ・「物語音読論生成の周辺」松岡智之, 物語の生成と受容 5, p48-p69, 2010
- ・「物語絵の「かたち」に意味はあるのか」横井孝, 物語の生成と受容 2, p127-p151, 2007
- ・「住吉物語における源氏物語撰取について―改作と創作の狭間から―」横溝博, 物語の生成と受容 1, p81-p122, 2006
- ・「『風葉和歌集』の内なる物語史」横溝博, 物語の生成と受容 3, p143-p183, 2008

【その他（学会発表）（公開データベース）等】

[展示・シンポジウム]

(展示)

タイトル、会期（期間）、会場、入場者概数

(シンポジウム・講演会)

タイトル、期日、会場、参加人数概数、個別発表者名・講演者名、個別発表・講演タイトル

展示に付随した講演などは、頭に「*」を付して展示の項に註記しても構いません。

(展示)

タイトル 特別展示「物語の生成と受容」

会期 平成21年11月7日～11月23日，11月28・29日

会場 国文学研究資料館展示室

展観人員 523人

(シンポジウム・講演会)

【研究会・資料調査】

年度毎に分けて日付順に研究会と資料調査を別々に記入して下さい。(研究打合せは記入しないこと。)

【平成〇〇年度】

(研究会)

期日、会場、発表者(報告者)とタイトル

(資料調査)

期日、調査先

【平成16年度】

(研究会)

◎第1回研究会 平成16年11月5日 国文学研究資料館・大会議室

江戸英雄「露」、伊藤鉄也「雨」、中村康夫「血」、加藤昌嘉「涙」

【平成17年度】

(研究会)

◎第1回研究会 平成17年12月1日(木) 国文学研究資料館・大会議室

江戸英雄「物語の生成—『うつほ物語』の重複本文を例に—」、加藤昌嘉「『源氏物語』桜人巻の散佚をめぐって」、横溝博「住吉物語における源氏物語摂取について—改作と創作の狭間から—」

◎第2回研究会 平成17年12月26日(月) 国文学研究資料館・大会議室

中川照将「『夜の寝覚』における改作について」、高橋由記「『栄花物語』の続編について」、金光桂子「『松浦宮物語』の省筆・偽跋について」

(資料調査)

12/1,12/26 国文学研究資料館

【平成18年度】

(研究会)

◎第3回研究会 平成18年6月23日 国文学研究資料館・第一会議室

松岡智之「物語の文章を形作る方法をめぐって—一本居宣長『手枕』を起点に」、萩野敦子「『狭衣物語』における「あやめ」場面の形成について」

◎第4回研究会 平成18年8月25日 国文学研究資料館・第一会議室

岩城賢太郎「謡曲〈狭衣〉の構成—室町文芸における『狭衣物語』天稚御子降下場面の受容の様相」、横井孝「物語絵の「かたち」に意味はあるのか」

◎第5回研究会 平成18年10月27日 国文学研究資料館・第一会議室

小川陽子「『山路の露』の序について」、中村康夫「歴史語りのゆくえ」

(資料調査)

6/23,8/25,10/27 国文学研究資料館

【平成19年度】

(研究会)

◎第6回研究会 平成19年6月29日 国文学研究資料館・中会議室

テーマ《『源氏物語』成立論再考》

加藤昌嘉「研究の流れ」、松岡智之「和辻哲郎『ホメーロス批判』の射程」、加藤昌嘉「紫上系と玉鬘系」

◎第7回研究会 平成19年8月24日 国文学研究資料館・中会議室

テーマ《『風葉和歌集』再考》

中川照将「先行研究のまとめ」、小川陽子「中世王朝物語研究と『風葉和歌集』」、金光桂子「『風葉

和歌集』雑部の構成について」，横溝博「『風葉和歌集』の内なる物語史」

(資料調査)

6/29,8/24 国文学研究資料館

【平成20年度】

(研究会)

◎第8回研究会 平成20年8月6日 国文学研究資料館・第一会議室

小テーマ《物語と歴史》

高橋由記「一条朝以前の後宮について—史料・歴史物語・和歌」，江戸英雄「場面と記述—付、『うつほ物語』の場面一覧表」

◎第9回研究会 平成20年10月25日 国文学研究資料館・第二会議室

小テーマ《王朝物語と歌ことばの変奏》

萩野敦子「平敷屋朝敏の擬古文物語『若草物語』の生成とその注釈・研究について」，阿尾あすか「正徹の源氏物語摂取」

(資料調査)

8/6,10/25 国文学研究資料館

【平成21年度】

(研究会)

◎第10回研究会 平成21年7月25日 国文学研究資料館・第一会議室

江戸英雄「研究プロジェクト展示「物語の生成と受容」について」

◎第11回研究会 平成21年10月8日 国文学研究資料館・第一会議室

伊藤鉄也「傍記混入の実態から見える源氏物語諸本の位相—「初音」「常夏」の場合」

◎第12回研究会 平成21年11月7日(土) 国文学研究資料館・第一会議室

小テーマ《物語音読論再考》

安藤徹「物語(音読論)の臨界」，松岡智之「物語音読論生成の周辺」

(資料調査)

7/25,国文学研究資料館 1/6～8 一宮市尾西歴史民俗資料館